

4 施設別の整備指針

各種公共事業における施設別の整備指針を以下のように定める。

(1) 道路

《基本的考え方》

道路は、人々の往来や物流のための重要な役割を果たしている公共空間であり、その沿道には、山並み、田園、街並みなど多種多様な景観が広がっている。

これからの道路には、安全性や機能性はもとより、快適性や美観性などの質的充実が求められていることは勿論、街並み修景整備による賑わい創出が強く求められており、人や環境に優しく配慮し、美しい景観を守り育て、知的情緒が感じられるなど、感性あふれる個性的な道路づくりが重要となってきた。

さらに、海や山、田園などの美しい自然や歴史的街並みなど、それぞれの地域特性を踏まえ、周辺景観との調和に配慮しながら、新しい県土景観の創造に努める。

① 路線の選定

周辺環境を十分考慮し、山や海等の風景を活用するとともに、自然の保全や調和に努める。

《配慮事項》

- できる限り自然地形の改変を抑え、周辺の景観を大きく損なわないよう配慮する。



眺望の見通しなどに配慮することが望ましい

- 歴史的街並み、建造物などのすぐれた景観資源の保全に努める。



自然地形に配慮した道路線形を選定
(主要地方道大谷狼煙飯田線/珠洲市)



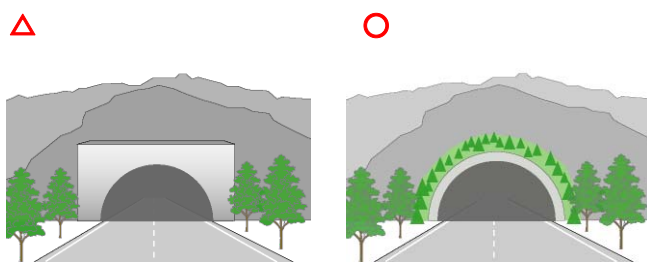
道路脇の樹齢 100 年を超えるモミの大樹とアカマツを保全
(本多通り/金沢市)

②トンネル

坑口部は、周辺の地形になじむ構造及び形態とし、周辺景観との調和に努める。

《配慮事項》

- 坑口部周辺地形の改変を最小限に抑え、自然・植生の復元が可能な形式・工法や坑口位置の選定に努める。



坑口部周辺を植生するなど、地形になじませることが望ましい

- 坑口部壁面は、意匠・色彩及び素材等について工夫を行い、周辺環境との調和や圧迫感の軽減に努める。



周辺環境にそぐわないデザインは避ける

- トンネル内部は、閉鎖感や暗さ、視環境の単調さをやわらげる舗装や内装、照明の工夫などに努める。



坑門は圧迫感を抑えるためシルクハット型を採用し、坑口周辺を植生（南加賀道路／加賀市）



坑口のコンクリート壁の型枠に化粧型枠を使用して周辺景観に配慮（珠洲道路晴見隧道／珠洲市）



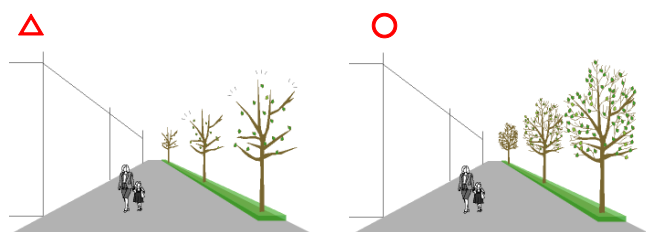
トンネル内を明るくするために内装板を設置し、照明も違和感のない蛍光ランプを使用してトンネル内の景観に配慮（山側環状崎浦涌波トンネル／金沢市）

③道路緑化

周辺環境を勘案し、できる限り緑豊かな道路景観となるよう努める。

《配慮事項》

- 樹木の選定にあたっては、地域の気候、風土、植生、維持管理のしやすさを考慮し、個性ある道路景観とするよう努める。
- 街路樹はできる限り自然樹形を保たせ、緑豊かな道路景観となるよう努める。



自然樹形を保つように剪定することが望ましい

- 既存の樹林や樹木等はできる限り保全し、必要に応じて樹木を移植するなどして活用するよう努める。
- 沿道には、できる限り植樹を施し、中央分離帯や交通島についても交通安全上支障のない範囲で緑化に努める。
- 歩道部は、快適な歩行空間とするため、樹種の選定や樹木の配置を工夫して、積極的に緑化に努める。



積極的な緑化と適正な維持管理に努める



真っ赤な花が目を引くサルビアロードで地域個性を演出
(主要地方道内浦柳田線／能登町)



防護柵を緑化（山側環状／金沢市）



交通島へ植樹
(主要地方道金沢湯涌福光線／金沢市)



歩道への植栽により潤いを演出
(国道 249 号／輪島市)

④道路占用物

配置、形態、意匠及び色彩について規制、誘導を図るとともに、できる限り整理統合し、周辺景観を阻害しないよう努める。

《配慮事項》

- 電線等の建柱位置については、歩行者の妨げとならないよう配慮する。中心市街地、歴史的な街並み、温泉観光地、景勝地等、特に景観上の配慮が必要な地域では、無電柱化に努める。



安心して歩けるよう無電柱化を実施
(都市計画道路温泉中央南線／加賀市)

- ベンチ、彫刻、ゴミ箱、電話ボックス等のストリートファニチャーは、その配置、形態、意匠及び色彩が周辺景観に調和するよう努める。



電話ボックスに勾配屋根や茶色の格子をつけて景観に配慮
(主要地方道金沢湯涌福光線／金沢市)

- 歴史的な街並み、温泉観光地、景勝地等、特に景観上の配慮が必要な地域では、自動販売機においても、設置業者の協力を得て周辺景観に配慮したものとするよう努める。



自動販売機を景観に配慮して修景
(都市計画道路温泉中央南線／加賀市)

⑤道路休憩施設

運転者や歩行者に安らぎを与える空間とするため、周辺の景観と調和し、眺望が良く、安全で快適な場所となるよう努める。

《配慮事項》

- 眺望景観を考慮して、視点場となるような位置選定に努める。



眺望に配慮して駐車場を整備
(主要地方道志賀富来線／志賀町)

- 周辺環境と調和した緑化を行うよう努める。
- 地域の独自の自然・歴史・文化などを考慮し、施設等の形態、意匠及び色彩に配慮する。



休憩施設に、地元で江戸時代から伝わる
ぼら待ち網漁のシンボルである「ぼら待
ちやぐら」を設置
(国道 249 号／穴水町)

⑥沿道街並みの修景

景観上の配慮が必要な街路整備を行う際には、街路空間の修景と合わせて、沿道の街並み修景を行うよう誘導に努める。

《配慮事項》

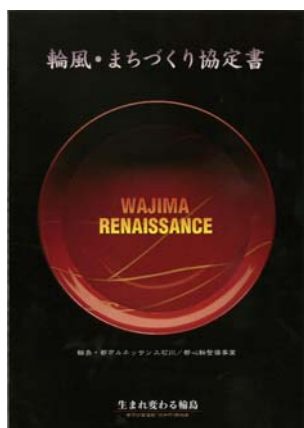
- 街路事業に合わせて、住民が主体となって「地区計画」や「街づくり協定」を策定し、ルールに基づいて沿道も含めた整備区間全体の景観整備を行うよう、誘導に努める。



整備前



街路事業に合わせ、「輪風・まちづくり協定」に基づき沿道の修景整備やセットバックにより統一のある街並みを形成
(都市計画道路河井町横地線／輪島市)



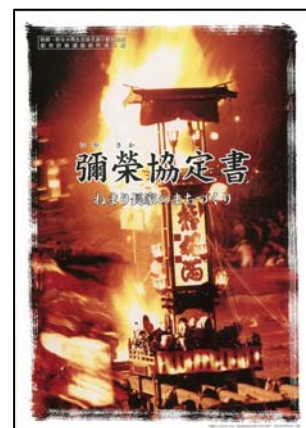
輪風・まちづくり協定書



整備前



街路事業に合わせ、「彌榮（いやさか）協定」に基づいた沿道の修景整備により美しい街並みを形成
(都市計画道路新町通り線／能登町)



彌榮協定書

(2) 橋梁

《基本的考え方》

橋梁は、歴史や文化を背景にした地域のシンボルとして、また、地域を結ぶ人々の交流点として親しまれてきている。

橋梁は山並みや街並みを背景にした水に浮かぶ風景として、それ自体が優れた景観となりうるものである。そのため、特に景観に配慮すべき地域においては、計画段階で現況の景観を保全するか、新たな景観を創出するかを検討し、経済性及び安全性及び快適性に加え、周辺の自然や街並みとの調和を図りながら、色彩などを工夫し、それぞれの地域にふさわしい美しさや個性のある橋梁景観の形成に努める。

①橋梁本体

主要な眺望点からの眺望に配慮するとともに、特に景観に配慮すべき地域においては、橋梁の構造、形態、意匠及び色彩は、周辺景観との調和や地域の特性に配慮する。

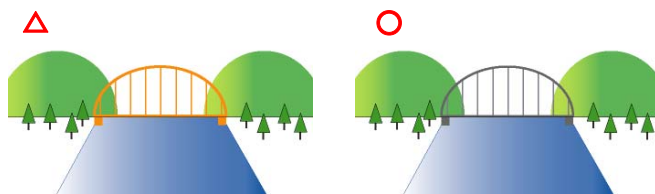
《配慮事項》

- 橋梁形式の選定にあたっては、各形式の特徴と支間割などのプロポーシオンを検討し、周辺景観との調和に努める。



河北潟に飛来する白鳥や日本海に浮かぶヨットをイメージし、優美な斜張橋を整備（内灘大橋／内灘町）

- 設計においては、機能的・構造的必然性を重視し、過度な装飾を避けたシンプルなデザインとする。



周辺環境と調和したデザイン・色彩とすることが望ましい



医王山の山並みと調和するよう、シンプルかつシンボリックなデザインの単弦アーチ橋を整備（御影大橋／金沢市）

- 地形の改変、既存植生の損傷を最小限とするよう、施工方法を含めて検討する。



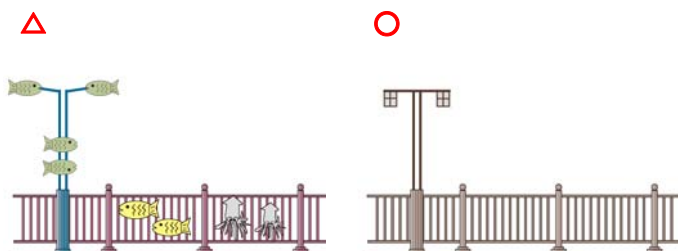
海域中央部の特別保護区「猿島」を保護するように配慮して架橋
(中能登農道橋／七尾市)

② 橋梁付属物（高欄、照明施設、舗装、排水施設等）

主要な眺望点からの眺望に配慮するとともに、特に景観に配慮すべき地域においては、橋梁本体とバランスのとれた形態、意匠及び色彩とし、周辺景観との調和や地域の特性に配慮する。

《配慮事項》

- 橋梁付属物の形態、意匠、素材及び色彩は、遠景と橋上等からの近景の両面から橋梁本体との調和に配慮するとともに、周辺の自然や街並みとの調和にも努める。



自己主張が強いデザインモチーフは避けることが望ましい



高欄は、犀川や医王山の眺望を確保するため見通しの良い多柵型を採用し、高欄、照明灯、信号柱をダークグレーで統一（御影大橋／金沢市）

③高架橋・歩道橋

特に景観に配慮すべき地域においては、沿道住民や歩行者等に与える圧迫感をやわらげるよう配慮するとともに、周辺景観との調和や地域の特性に配慮する。

《配慮事項》

- 市街地や景勝地などで特に景観に配慮すべき地域では、橋桁・橋脚等に曲線処理を施したり、スリムに見えるようデザインを工夫したりするなど、周囲に与える圧迫感や威圧感をやわらげるように努める。



高架橋の橋桁や橋台・橋脚に曲線処理を施すことにより、圧迫感を軽減
(西念高架橋／金沢市)



スレンダーな印象となるよう色彩を工夫し、防護柵は橋本体と調和するよう目立たないものを採用
(ラブリッジまっとう／白山市)

- 排水管、電線管などの付属物は、目立たないように工夫し、橋梁本体との調和に努める。

(3) 河川・水路

《基本的考え方》

河川や水路は、古くから地域の住民と深い関わりを持ち、治水や利水の面から生活、農業及び文化に大きな影響を与えてきた。

また、河川・水路は生物の生息の場としても重要であるとともに、上流、中流及び下流といった流れの位置や周囲の地形などにより、それぞれの流域の特性に応じて優れた景観を見せている。

河川・水路の整備では、自然環境、景観、歴史、文化との調和にも配慮しながら、うるおいと親しみのある緑豊かな親水空間となるよう、良好な景観の形成に努める。

①河川全般

「多自然川づくり」をすべての川づくりの基本とした整備に努める。

《配慮事項》

- 河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。

*「多自然川づくり基本指針（国土交通省 H18.10）」



自然環境（瀬・淵など）に配慮して整備
（河原田川／輪島市）



中州や対岸まで渡れる飛石等の設置により、水辺と遊び、学習できるよう整備
（伏見川・高橋川／金沢市）



自然とのふれあいの場になるよう、自然石張護岸のせせらぎを整備
（山島用水／白山市）

②堤防

近景や遠景との調和を考慮しながら、できる限り自然に近い形態となるよう配慮するとともに、管理上支障がない範囲で親水性の向上に努める。

《配慮事項》

- 自然素材等の活用により、自然生態系保全と親水性の向上に努める。



河川堤の緑化、階段護岸や飛石等の設置により、レクリエーションの場を創出（伏見川・高橋川／金沢市）

- 瀬と淵、わんど、河畔林等が現存する良好な環境資源をできる限り保全する。

※わんど…川のよどみ（死水域）



河畔林、瀬・淵を活かして河川を整備（河原田川／輪島市）

- 植栽や緑化にあたっては、周辺の植生に配慮し、在来種の採用に努める。

- 維持管理が容易になるよう整備・工夫に努める。
（水際まで降りられる階段など）



水際まで降りられる階段を整備（大谷川／かほく市）

- 坂路や階段の配置によって、単調になりがちな景観に変化を与えるよう工夫する。



部分的に階段護岸を整備し、親水性を確保するとともに、単調な景観に変化を与えるよう工夫（浅野川／金沢市）

③護岸

生物の生息・繁殖環境と多様な景観の保全・創出に配慮した適切な工法の採用に努める。

《配慮事項》

- 自然環境に応じて、生物の生息に配慮した構造とするなど、生態系の保護に努める。
- 自然とのふれあいができるような親水空間の創出に努める。
- 自然素材や環境保全型ブロックの活用等により、周辺景観に調和した意匠・形態になるよう努める。



生態系に配慮して木工沈床を設置
(梯川／小松市)



既設石積み護岸の景観を保全するため、
根固めにより補強 (大聖寺川／加賀市)



整備前 (老朽化したコンクリート護岸)



紅露石を布積みにして護岸を整備
(御祓川／七尾市)

- 河川護岸の天端は、極力コンクリートが出ないように工夫する。



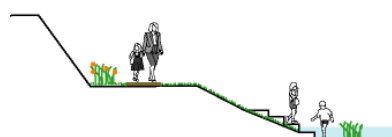
護岸肩部の硬い印象を和らげるよう、護岸天端付近を緑化 (倉部川／白山市)

④高水敷

管理上支障がない範囲で、うるおいと親しみのある水辺空間の創出に努める。

《配慮事項》

- 周辺景観との調和に配慮して、遊歩道等の整備により親水性の向上に努める。



高水敷の遊歩道

- できる限りの緑地化により、緑豊かな空間の確保に努める。



高水敷が緑地公園として整備され、レクリエーション等、多くの人々が利用
(犀川／金沢市)



高水敷を花壇として利用し、近隣住民のふれあいの場として整備
(浅野川／金沢市)

- 公園や広場としての利用に供するなど、水辺空間の提供に努める。



水辺に向かって休憩できる空間を整備
(御祓川／七尾市)

⑤水路

地域用水機能を確保するとともに、歴史的景観の保全、親水性を確保しつつ、周辺景観との調和に努める。

《配慮事項》

- 自然素材等の活用により、自然生態系保全と親水性を確保する。



縦排水路の制水工に自然石を使用して自然との一体性に配慮
(主要地方道白山公園線／白山市)



周辺景観に配慮した石積み護岸や用水沿いの親水空間を整備
(鞍月用水／金沢市)

- 維持管理が容易になるよう管理階段の設置やカバープランツの植栽など整備・工夫に努める。

※カバープランツ…日本語では地被植物または被覆植物。地表を覆うように生育する植物の総称で、茎や枝を横に伸ばして地面や壁面などを低く薄く覆うため、土壌の乾燥や土の流出、雑草を防ぐ効果がある。



水路底へ降りられるような階段を整備
(鞍月用水／金沢市)



開花期間の長いヒメイワダレソウを選定



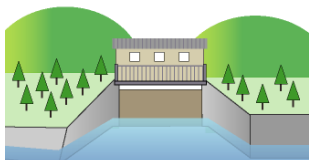
防草効果のあるカバープランツを植栽し、維持管理の軽減と景観向上に貢献
(大慶寺用水／白山市)

⑥水門・樋門・頭首工及び排水機場等

位置、形態、意匠、色彩及び素材に配慮し、周辺の水辺景観を阻害しないよう努める。

《配慮事項》

- 地域の歴史、文化、周辺景観との調和に努める。



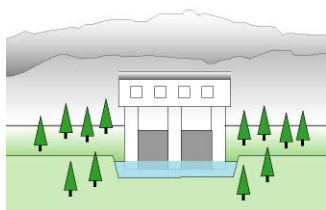
周辺景観と調和したデザイン・色彩が望ましい

- 県産材や自然素材等の活用により、生態系保全と親水性確保に努める。
- 放流箇所などは、流水による造形などを考慮した意匠・構造とするよう努める。



既存の堰を補修・補強することにより、昔からの景観を保存
(大聖寺川／加賀市)

- 周辺景観から突出する構造となる場合、景観への影響を最小限にとどめるよう施設周辺の植栽などに努める。



水門などの構造物は植栽などにより周辺景観との調和に配慮



アユ等が遡上しやすいよう魚道勾配を緩く改良整備
(大聖寺川／加賀市)



景観に配慮して突出しない構造を採用
(安原川／金沢市)

(4) ダム

《基本的考え方》

ダムは、治水、利水をはじめとして、広く流域の住民の生活や財産の保護保全に資する重要な構造物である。

ダムは自然の中の大規模な人工構造物として、地域の自然環境に影響を与えることもあるため、現存する自然環境を最大限に保全するように努める。また、ダムサイト及び貯水池が新しい景観の創出に極めて重要な役割を果たしていることから、地域のランドマークとして、人との触れ合いを考慮した展望施設、休憩施設、遊歩道などの設置について配慮し、人々にうるおいとやすらぎを与える場所として整備に努める。

① 堤体

形態及び意匠は、周辺の自然との一体感を有した景観づくりに努める。

《配慮事項》

- 境界部の納まりや、空間の連続・分節のバランスに配慮し、巨大な人工構造物が周辺景観に違和感を与えないよう努める。



緩やかなアーチを描き、下流側壁面に筋を刻むことにより景観や地形に配慮（丸谷ダム／加賀市）

- 視点場からの堤体の見え方に配慮する。



周辺の景観に配慮して整備（寺田川ダム／能登町）



辰巳用水東岩取水口付近からの眺望（イメージ）（辰巳ダム／金沢市）

- 流域の地域特性を意識したデザインや地域産材の活用に努める。



堤頂道路置き石に地場産材の戸室石を利用（医王ダム／金沢市）

②ダム本体周辺構造物（管理事務所、繫船設備、取水設備等）

形態及び意匠などを工夫し、ダム本体及び周辺景観との調和に努める。

《配慮事項》

- 管理棟、取水設備等は、意匠・素材・色彩を自然に調和したものとするよう努める。



管理棟に県産木材を使用して景観に配慮（寺田川ダム／能登町）

- 流域の地域特性を意識したデザインとなるよう努める。



管理棟の屋根を瓦葺きとし、外壁に木材を使用して能登の民家をイメージ（小屋ダム／珠洲市）

③ダムサイト及び貯水池周辺

自然環境の保全・復元と周辺の自然景観の四季や経年の変化に配慮する。また、展望施設、遊歩道等は視点場を意識した整備とするよう努める。

《配慮事項》

- ダムサイト及び貯水池周辺の整備は、四季の変化・経年変化を考慮したものとする。
- 掘削面の緑化にあたっては、郷土種を原則とし、自然の遷移に委ねた自然環境の復元を行うことにより、周辺景観との調和に努める。
- 展望施設、遊歩道等は、堤体景観を美しく見せるよう、視点場を意識した整備に努める。



貯水池周辺に桜を植樹
(九谷ダム／加賀市)



ダムサイト周辺に広場を整備
(九谷ダム／加賀市)

(5) 砂防・治山

《基本的考え方》

砂防・治山設備は、土砂災害から住民の生命・財産を守り、安全で安心して生活できる国土基盤を創設するものであるが、周辺景観に影響を及ぼす恐れもある。そのため、施設整備にあたっては、国土保全の観点から防災機能を確保した上で、できる限り周辺景観に調和した工法を取り入れ、地域の個性を尊重しつつ良好な景観の保全及び形成に努める。

また、林地は人々が身近な自然とのふれあいを求める場であるとともに、生物の生息の場であるため、施設設置にあたっては、できる限り自然に近い形態となるよう配慮し、うるおいと親しみのある緑豊かな森林空間としての整備に努める。

① えん堤工・谷止工・流路工・護岸工

形態及び意匠の工夫や自然素材の活用などにより、周辺景観との調和に努める。

《配慮事項》

- 周辺景観を阻害しない位置や形式、施設規模、施設と背景のバランスを検討し、機能美として安定性・安心感を表現する。
- 周辺環境に調和する工種の選定や地形改変を抑えた施工法を検討する。
- 溪流の空間とそれを囲む溪畔林空間とを物理的・視覚的に分断しないように配慮する。
- できる限り階段式護岸、溪畔林、標識等の整備を進め、親水空間や森林とのふれあいの場を整備する。
- 時間の経過とともに周辺景観に馴染んでいく形式、材料を選定する。



現地の自然石を取り入れて護岸を整備
(永光寺川／羽咋市)



親水性を配慮した階段護岸を整備し、児童の環境学習活動などにも利用
(永光寺川／羽咋市)

②法枠工・擁壁工・補強土工

施設の機能美を確保するとともに、その形態及び意匠の工夫や自然素材の活用などにより、周辺景観との調和に努める。

《配慮事項》

- 周辺景観を阻害しない位置や形式、施設規模、施設と背景のバランスを検討し、機能美として安定性・安心感を表現する。



整備前



隣接する中学校との景観の調和に配慮し、連続繊維補強土工により自生立木を残存（清水地区山腹／輪島市）

- 周辺環境に調和する工種の選定や地形改変を抑えた施工法を検討する。

- 森林空間を物理的・視覚的に分断しないように配慮する。

- できる限り植生、歩道、標識、安全柵等の整備を進め、森林とのふれあいができるようにする。

- 法面の緑化、在来種の利用など、周辺景観に馴染んでいく形式、材料を選定する。



既存樹木を残して土留柵工を整備し、環境との調和、生態系の保全に配慮（市ノ瀬地区山腹／輪島市）



植生基材吹付工による緑化



名勝地不動滝に隣接する山腹面を既存樹木を残してロープ連結型法枠により復旧（井田地区山腹／中能登町）